

国際看護の原点と 新時代への挑戦

～グローバル化の進展とともに～

プログラム

- 安田 直史 先生
「グローバル化する世界での
保健、看護の役割」
- 李 節子 先生
「在日外国人のリプロダクティブヘルス・
ライツから国際看護を考える」
- 山本 裕子 先生
「実践活動から考える国際看護」

対象者

国際看護に携わっている、もしくは興味関心がある方なら
どなたでも参加できます(100名程度)

参加費：無料

日時 2016年10月1日(土)13:30～16:30
(受付時間13:00)

場所 兵庫県立大学 地域ケア開発研究所3階
(兵庫県立大学明石看護キャンパス内)

講師 紹介



李 節子 先生



山本 裕子 先生



安田 直史 先生

安田 直史 先生 (近畿大学社会連携推進センター 教授)

1984年大阪大学医学部卒業。大阪府立千里救命救急センター、成人病センター、八尾市立病院などで外科臨床を経験後、ジョーンズホプキンス大学にて公衆衛生修士(MPH)を取得。国立国際医療センターにて国際協力機構(JICA)やWHO専門員として多数のプロジェクトに従事。2005年からは国連児童基金(unicef)にてミャンマー、ベトナム、タンザニアのHIV対策、母子保健対策に関わり、2016年7月から現職。

李 節子 先生 (長崎県立大学大学院人間健康科学研究科 教授)

千葉大学看護学部卒。助産師。1995年東京大学にて保健学博士号を取得。東京女子医科大学、米国ライト州立大学ブーンショフト医学大学院グローバル保健医療システム・マネジメント・政策センター客員教授を経て2007年4月より現職。日本グローバルヘルス研究センター所長、公益財団法人長崎県国際交流協会評議員。すべての人々が個性豊かに暮らせる日本の多文化共生社会をめざして大学、行政、市民団体、研究会などで広く講演を行う。

山本 裕子 先生 (特定非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会 在日外国人支援事業担当 看護師・保健師)

兵庫県立看護大学卒。国立国際医療研究センター、訪問看護ステーションコスモスでの勤務を経て、2004年より2年間青年海外協力隊保健師隊員としてホンジュラスに赴任する。帰国後、2007年に兵庫県立大学大学院博士前期課程(国際地域看護学専攻)を修了する。2009年より外務省NGO専門調査員としてシェアの在日外国人支援事業に関わり、2010年より現職に就任。国籍に関係なく、全ての人が健康に生活できるような社会を目指して活動している。

お申し込み方法

お申し込み・お問合せはメールまたはFAXで受け付けています。(9月27日締切)
下記メールアドレスまたは裏面のFAX用紙に、お名前、ご所属、電話番号をご記入の上、
お申し込みください。

ichnurse.office@gmail.com

交通アクセス

- 鉄道 JR山陽本線・山陽電鉄 明石駅(バス) JR山陽本線 西明石駅(タクシーで約10分)
- バス 明石駅北側バス乗り場から「がんセンター」方面のバスに乗り、「がんセンター」前下車



担当：李 錦純(兵庫県立大学看護学部・国際地域看護研究会代表)

事務局：高橋 美沙子(兵庫県立大学看護学部)

主催：国際地域看護研究会

共催：兵庫県立大学看護学部国際交流推進委員会・国際看護学生サークル(NITW)